

# あかふじ ニュース

第 13 号

発行 平成29年4月  
山梨県消防防災航空隊



《山梨県ホームページ》

<http://www.pref.yamanashi.jp>

《やまなし防災ポータル》

<http://bosai.pref.yamanashi.jp>

山梨県消防防災航空隊

〒400-0108 山梨県甲斐市宇津谷 445-1

T E L 0551-20-3601

F A X 0551-20-3603

E-mail: [bousai-kokuu@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:bousai-kokuu@pref.yamanashi.lg.jp)

- ・平成28年度緊急運航実績報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・山梨県消防防災ヘリコプター更新について・・・・・・・・・・ 2
- ・消防救急デジタル無線運用開始について・・・・・・・・・・ 3
- ・横浜市消防局航空隊及び特別高度救助部隊合同訓練について・・・・ 4
- ・総務省中央合同庁舎第2号館HP進出・離着陸訓練について・・・・ 5
- ・他県消防防災航空隊視察研修について・・・・・・・・・・ 6
- ・合同訓練等実施内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～11
- ・派遣終了隊員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12・13

# 平成28年度緊急運航実績報告

区分	件数 人員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
		救助	救助件数	8	4		2	16	4	8	11	5	5	2	3
	救助人員	4	6		2	17	4	7	9	3	6	3	2	63	
救急	救急件数	3	4		1	13	3	6	4	5	7	2	3	51	
	搬送人員	3	4		1	13	3	6	4	6	7	2	3	52	
火災	災害件数	2								1	1		1	5	
	飛行回数	2								1	1		1	5	
災害応急対策	災害件数					1								1	
	飛行回数					1								1	
件数小計		13	8		3	30	7	14	15	11	13	4	7	125	
相互応援・広域航空消防応援・緊急消防援助隊	救助	救助件数				1	2						2	5	
		救助人員				1	3							4	
	救急	救急件数				1	2							3	
		搬送人員				1	2							3	
	火災	災害件数											1	1	
		飛行回数											1	1	
	その他	災害件数												2	2
		飛行回数												2	2
件数小計						2	4						5	11	
緊急運航並びに相互応援協定・広域航空応援・緊急消防援助隊の合計件数														136	

3月31日現在

今年度の緊急運航件数は、上記表のとおり3月31日現在で136件ありました。

このうち、救助活動件数は県内外合わせて73件あり、そのうち県内活動が68件、相互応援協定等に基づく他県応援活動が4件、広域航空消防応援による他県応援活動が1件でした。

緊急運航件数のうち、県内での救助活動が50%を占め、救急活動は37%、火災防御活動は4%、災害応急対策活動は1%でした。また、県外への応援活動は8%であり、長野県、群馬県への応援活動が11件ありました。

なお、6月は耐空検査であったため、緊急運航はありませんでした。

# 消防防災ヘリコプター更新について

山梨県消防防災ヘリコプター「あかふじ」は、平成7年4月26日の運航開始より、本年度で22年目を迎え、平成29年3月31日までの総飛行時間数は6,249時間23分となっています。

山梨県消防防災ヘリコプターの更新につきましては、平成27年12月に「山梨県消防防災ヘリコプター更新に係る検討委員会」を設置し、更新に向けての検討を行い、委員会からの提言も踏まえ、機体更新を進めて行くこととしました。

平成28年度においては、機体及び装備品等の詳細な仕様を決定し、一般競争入札を行い、更新機を決定しました。

## 【消防防災ヘリコプター更新機の概要】

### ○契約者等

- ・契約者 三菱商事株式会社
- ・納入期限 平成30年3月1日

### ○基本性能等

- ・型式 シコルスキーエアクラフト S-76D
- ・寸法 機体全長 16.00 m 機体全高 4.39 m 機体全幅 3.05 m
- ・座席 操縦士席 2 客室座席 12
- ・容積 客室 5.78 m<sup>3</sup> 貨物室 1.08 m<sup>3</sup>
- ・重量 最大全備重量 5,386 kg 空虚重量 3,615 kg 有効搭載重量 1,771 kg
- ・速度 最大巡航速度 287km/h 最大航続距離速度 282km/h
- ・燃料 燃料タンク容量 900 kg 燃料消費量 300kg/h
- ・エンジン 型式 PW210S 5分間出力 2,154 shp 常用出力 2,154 shp
- ・主な装備品 ヘリコプターテレビ電送装置、ヘリコプター動態管理システム、デジタル消防無線装置、救助用ホイスト装置、消火バケツ取付装置、メインストレッチャー、GPS地図情報装置、衛星電話装置、空中衝突警告装置、対地接近警告装置等



《 現有と同型機 》



# 消防救急デジタル無線運用開始

消防救急無線については、電波法関係審査基準改正に伴い、平成28年5月31日までにデジタル化移行を行うこととされ、各消防本部におかれましては、アナログ通信方式からデジタル通信方式への移行が完了し、現在デジタル通信方式での運用を行っていることと思います。山梨県及び当航空隊におきましても、平成27年度中のデジタル通信方式による消防救急無線の整備を進めて参りました。山梨県消防防災ヘリコプター「あかふじ」につきましては、約1ヶ月間の整備期間をいただき、デジタル化への移行が完了、自隊訓練等での準備期間を経て、平成28年6月1日からデジタル通信方式での運用を開始しました。

今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 1【山梨県消防防災ヘリコプター「あかふじ」の消防救急デジタル無線整備期間】

- ・平成28年1月21日～平成28年2月25日

## 2【運用開始日】

- ・平成28年6月1日

## 3【運用無線周波数】

- ・原則として主運用波

(各種災害状況や訓練等により、主運用波による通信が困難な場合は、統制波1・2・3のいずれかを使用する。)

## 4【依頼事項】

- (1) 携帯型移動局無線装置を使用して無線交信する場合は、受信設定を「直接受信(他移動局受信)」として下さい。
- (2) 各種災害現場における消防防災ヘリコプター「あかふじ」の活動開始後は、「あかふじ」と航空隊員の無線交信を優先したいため、消防隊から「あかふじ」への無線交信は控えて下さい。



# 横浜市消防局航空隊及び 特別高度救助部隊合同訓練

横浜市消防局航空隊及び特別高度救助部隊と大規模災害発生時における連携強化を図ることを目的に合同訓練を実施しました。当隊の機体や資器材の展示、意見交換等を行うとともに、駐機訓練及び実機訓練を実施し、応援時の安全かつ迅速な任務遂行、円滑な連携活動を図るため、相互に理解を深めました。



～ 意見交換会 ～

～ 清哲訓練場での訓練風景 ～



～ 全体集合写真 ～

# 中央合同庁舎第2号館 HP 進出・離着陸訓練



東京都において大規模災害又は特殊災害が発生した場合において、緊急消防援助隊航空部隊情報収集航空小隊として安全かつ迅速に任務を遂行することを目的に、飛行経路の確認及び近傍の医療機関等の上空偵察並びに中央合同庁舎第2号館ヘリポート離着陸訓練を実施しました。



# 他県消防防災航空隊視察研修

## 栃木県消防防災航空隊

(栃木県消防防災航空隊第2格納庫  
及び大郷戸訓練場)

栃木県消防防災航空隊と災害時の更なる連携強化を図ることを目的に視察研修を実施しました。同隊の模擬訓練及び実機訓練に参加し、相互の活動について理解を深めました。



## 富山県消防防災航空隊

(富山県防災航空センター  
及び黒部川運動公園)

日本有数の高山岳地帯を管轄する富山県消防防災航空隊と、大規模災害時の更なる連携強化を図ることを目的に視察研修を実施しました。施設見学、資器材説明、同隊の実機訓練参加及び意見交換を行い、非常に有意義な視察研修となりました。



# 合同訓練等実施内容

## • 山梨県水防訓練

(平成28年5月29日：南巨摩郡早川町)

早川河川敷で実施された山梨県水防訓練に参加しました。当県消防防災ヘリコプター「あかふじ」は耐空検査中のため、相互応援協定に基づき、静岡県消防防災航空隊に応援要請を実施、中洲に2名の要救助者が取り残された想定で、救出救助訓練を実施しました。



## • 埼玉県防災航空隊視察研修

(平成28年5月31日：当航空隊基地)

埼玉県防災航空隊が視察研修のため来隊しました。当航空隊格納庫において駐機訓練展示、各種活動資器材説明等を行い、相互の活動について理解を深めました。



## • 消防職員初任総合教育訓練

(平成28年7月22日：消防学校及び当航空隊)

消防職員初任総合教育学生を対象に、午前は消防学校において講義、午後は当航空隊で駐機訓練展示、各種活動資器材説明、ヘリ誘導要領指導を行いました。



## • 防災局合同訓練

(平成28年8月16日～9月27日のうち8日間：  
清哲訓練場及び広瀬ダム公園)

防災局職員が航空隊の救出救助訓練に参加することにより、同職員の航空消防防災活動に対する理解を深めるとともに、山梨県の防災体制の更なる充実強化を図ることを目的に訓練を実施しました。



• **上野原市消防本部及び  
大月市消防本部合同訓練**

(平成28年9月26日：上野原市島田湖)

河川等特殊な状況下での災害発生時において、消防隊と航空隊の連携した活動を迅速かつ安全に行うとともに、相互の連携を深め、救助技術の向上を図ることを目的として訓練を実施しました。



• **山梨県立中央病院合同訓練**

(平成28年10月4日：清哲訓練場)

各種災害における要救助者に対して、迅速な救命医療の対応を想定し、医師及び看護師が「あかふじ」に搭乗するとともに、救助救急現場等からのピックアップ、航空隊及び医療機関相互の円滑な連携活動を確立することを目的に訓練を実施しました。



• **長野県総合防災訓練**

(平成28年10月2日：千曲川スポーツ交流広場)

長野県佐久市地内で行われた、総合防災訓練に参加しました。相互応援協定を締結している長野県消防防災航空隊と大規模災害時等における連携活動の強化を目的として、ヘリTV訓練及び救出救助訓練を実施しました。

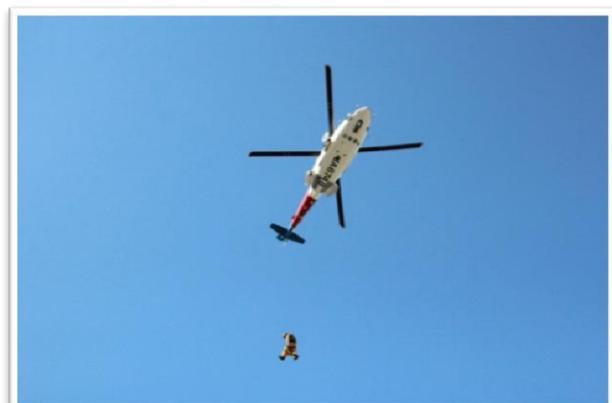


• **航空祭**

(平成28年10月15日・16日：

日本航空学園山梨キャンパス)

日本航空学園山梨キャンパスで行われた、航空祭に参加しました。多くの観覧者が見守る中、「あかふじ」と「ドクターヘリ」の連携活動訓練を展示し、航空隊の活動について良いアピールとなりました。



## • 山梨県防災新館 屋上 HP 離着陸訓練

(平成28年11月7日：山梨県庁防災新館)

山梨県の防災拠点となる、防災新館屋上 HP において、当県消防防災ヘリコプター「あかふじ」の離着陸訓練及び進入離脱経路の確認を行うとともに、大規模災害発生時に県災害対策本部が災害状況を把握し、効果的な活動調整を図ることを目的として、県幹部職員が参加し訓練を実施しました。



## • 上野原市消防本部合同訓練

(平成28年11月15日：

当航空隊基地及び韮崎滑空場)

地上隊と航空隊相互の理解を深め、安全確実な連携体制の構築を目的として、当航空隊基地において、搭乗・降機訓練、ホイスト同時降下による隊員投入訓練を実施、同日、韮崎滑空場において実機による隊員投入訓練及び救出救助訓練を実施しました。



## • 県民の日記念行事

(平成28年11月12日・13日：

小瀬スポーツ公園補助競技場)

小瀬スポーツ公園において行われた、県民の日記念行事に参加しました。当県消防防災ヘリコプター「あかふじ」は、毎年恒例の機体及び訓練展示を小瀬スポーツ公園補助競技場において実施しました。



## • 富士五湖消防本部合同訓練

(平成28年9月5日・6日：当航空隊基地

平成28年11月21日・22日：県立富士駐車場)

山岳現場における、地上隊と航空隊との連携体制の強化を目的として、当航空隊基地において、搭乗・降機訓練、ホイスト同時降下による隊員投入訓練を実施し、県立富士駐車場において実機による隊員投入訓練及び救出救助訓練を実施しました。



## ・大月市消防本部及び 消防団合同訓練

(平成28年11月27日:

大月市営総合グラウンド陸上競技場)

林野火災を想定し、ヘリコプターを活用した消火活動を円滑に行うため、消防隊と航空隊との安全確実な協力体制の確立と効率的な連携活動の向上を図ることを目的に、ポンプ給散水訓練を実施しました。



## ・南アルプス市消防本部合同訓練

(平成28年12月7日・20日:

西地区多目的活性化広場)

大規模な林野火災発生時に、早期に鎮圧・鎮火させるため、消防隊と航空隊との円滑な連携活動を行うことを目的に、ポンプ給散水訓練及び上空偵察訓練を実施しました。



## ・甲府地区消防本部 高度救助隊合同訓練

(平成28年12月15日: 敷島総合運動公園)

災害発生時における、地上隊と航空隊との円滑な連携活動の強化を目的として、合同訓練を実施しました。地上隊と「あかふじ」との無線交信、ヘリコプター誘導訓練及び救出救助訓練を実施しました。



## ・峡北消防本部合同訓練

(平成28年12月19日:

当航空隊基地及び清哲訓練場)

近年増加傾向にある、山岳災害発生時における、地上隊と航空隊との連携強化を目的として、当航空隊基地において、搭乗・降機訓練、ホイスト同時降下による隊員投入訓練を実施、同日、清哲訓練場において実機による隊員投入訓練及び救出救助訓練を実施しました。



## ・東山梨消防本部合同訓練

(平成29年2月27日・28日)

広瀬ダム公園及び広瀬ダム)

林野火災を想定し、消防隊と航空隊との安全  
確実な協力体制の確立と、ヘリコプターを使用  
した効率的な連携活動の向上を図ることを目  
的に、ポンプ給散水訓練及び上空偵察訓練を実  
施しました。



## ・東山梨消防本部及び 消防団合同訓練

(平成29年3月12日:甲州市塩山中萩原)

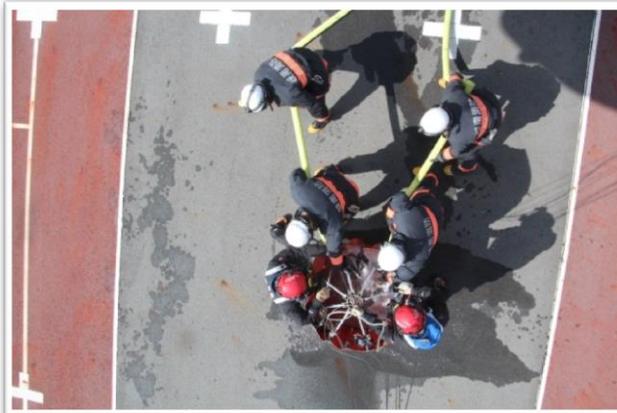
林野火災を想定し、消防隊と航空隊との安全  
確実な協力体制の確立と、ヘリコプターを使用  
した効率的な連携活動の向上を図ることを目  
的に、上空偵察訓練及び無線運用訓練を実施し  
ました。



## ・峡南消防本部合同訓練

(平成29年3月7日:富士川クラフトパーク駐車場)

林野火災を想定した、消防隊と航空隊との連  
携訓練を行うことにより、安全確実な協力体制  
の確立と効率的な連携活動の向上を図ることを  
目的に、ポンプ給散水訓練及び上空偵察訓練を  
実施しました。



## ・山梨県高速道路消防救急 連絡協議会合同訓練

(平成29年3月15日)

富士川増穂地区河川防災ステーション)

高速道路上における事故に対応するため、他  
機関との連携訓練を実施することにより、安全  
確実な連携体制の確立と効率的な活動の向上  
を図ることを目的に合同訓練を実施しました。



# 旅遣終了隊員紹介

**隊長 水上 岳司**  
(甲府地区消防本部)

救助活動	82件
救急活動	3件
火災防御	6件
その他	2件
緊急消防援助隊	2件
出動合計	95件
救助人員	115名



**副隊長 渡邊 亮**  
(富士五湖消防本部)

救助活動	64件
救急活動	7件
火災防御	5件
その他	2件
緊急消防援助隊	1件
出動合計	79件
救助人員	70名





平成29年3月31日付けをもちまして、3年間の任期を終え派遣元消防本部に帰任いたします。

各消防本部並びに各関係機関の皆様には、航空隊在任中のご支援ご協力に対しまして、厚くお礼申し上げます。

派遣元消防本部に帰りましても、これまでと変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

隊長 水上 岳司

副隊長 渡邊 亮

# YAMANASHI

あかふじ

## AIR RESCUE

